

串本町特定間伐等促進計画

和歌山県串本町

令和3年9月

1 特定間伐等促進計画の目標

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法第4条第1項の規定により定められた県の基本方針によると、令和3年度から12年度までの10カ年間の特定間伐等の実施の促進の目標として、95,000ha（年平均9,500ha）の間伐の実施を掲げている。

県の基本方針や本町の間伐の実施状況を勘案して、令和3年度から12年度までの10カ年間で2,200ha（年平均220ha）の間伐を行うことを、串本町村特定間伐等促進計画の目標とする。また、主伐後の確実な再造林も含めた造林の実施を促進する。

2 特定間伐等促進計画の区域

県の基本方針に定められた特定間伐等の実施を促進するための措置を講すべき区域の基準に従い、本町の特定間伐等促進計画の区域の範囲を別図のとおりとする。

注1) 国土地理院1／25,000地勢図相当又は1／5,000森林基本図の図面に図示する（市町村管内図等の使用も可）。

注2) 特定間伐等促進計画の区域としては、特定間伐等の事業を実施する区域だけではなく、基本方針において示された考え方即して、特定間伐等を実施することが適當と認められる区域を幅広く設定することとし、地形図等を用いて当該区域の概略を示す。この際、人工林を厳密に拾う必要はなく、介在的な天然林を含め、間伐及び造林が必要な範囲について面的に区域を設定する。

3 特定間伐等の実施計画

(1) 間伐

番号	事業実施主体	事業実施年度	所在場所			間伐を実施する森林の現況					間伐の内容			対図番号又は林小班名	交付金希望	備考
			市町村	字（大字）又は林班	地番又は林小班	面積	樹種又は林相	林齡	立木材積	適用	間伐の方法	間伐立木材積	間伐率（材積率）			
			(ha)			(m3)			(m3)							
1	南紀森林組合	令和3年度	串本町	里川	438-9	2.16	スギ・ヒノキ	33	455		定性間伐	114	25	間伐1		
2	南紀森林組合	令和3年度	串本町	田原	4382	3.77	スギ	31	852		定性間伐	213	25	間伐2		
3	南紀森林組合	令和4年度	串本町	里川	476外	3.48	スギ・ヒノキ	34	547		定性間伐	137	25	間伐3		
4	南紀森林組合	令和4年度	串本町	吐生	123～131	7.35	スギ・ヒノキ	67	1,804		定性間伐	451	25	間伐4		
5	南紀森林組合	令和5年度	串本町	闘野川	428外	6.87	スギ・ヒノキ	38～70	1,377		定性間伐	344	25	間伐5		
6	南紀森林組合	令和5年度	串本町	田並上	348外	8.16	スギ・ヒノキ	34～64	2,093		定性間伐	523	25	間伐6		
7	南紀森林組合	令和6年度	串本町	里川	1093外	15.95	スギ・ヒノキ	40～59	3,362		定性間伐	841	25	間伐7		

※ 間伐と一体的に実施する他の作業種については、備考欄に記載する。

(2) 造林

- ※ 人工播種による人工造林の場合は、人工播種による面積、時期、樹種、本数を備考欄に記載する。
 - ※ 天然更新による造林において、天然更新補助作業がある場合は、補助作業の内容を備考欄に記載する。
 - ※ 造林後に実施する下刈りについては、下刈りの面積を備考欄に記載する。また、既に植栽済みの箇所において下刈りを実施する場合は、事業実施年度、所在場所、造林の内容（植栽時期を除く。）及び対図番号又は林小班名の欄に当該植栽に係る該当事項を括弧書きで記載する。

(3) その他間伐及び造林に関する事項

※ 普及活動等ソフト的取組に関する事項を記載する。

(4) 作業路網

(5) その他施設

※ 土場、植栽時に設置するシカ防止ネット等の施設の設置等を記載する。

(6) 事業実施箇所

国土土地院1/25,000地勢図相当又は1/5,000森林基本図の図面に図示する(市町村管内図等の使用も可)。

- ・特定間伐等促進計画の区域を図示した上で事業実施箇所を図示
 - ・対図番号(団地番号, 林小班番号等) を表示

4 森林経営計画等に基づく森林施業、森林施業の共同化等の推進

- (1) 森林経営計画の作成及びこれに基づく間伐等の森林施業を推進するため、特定間伐実施主体は提案型施業の実施を推進する。
- (2) 実施主体は、施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界の確認、森林所有者等の合意形成等の活動を推進する。

5 路網の整備の推進、間伐等の効率化・低コスト化の推進

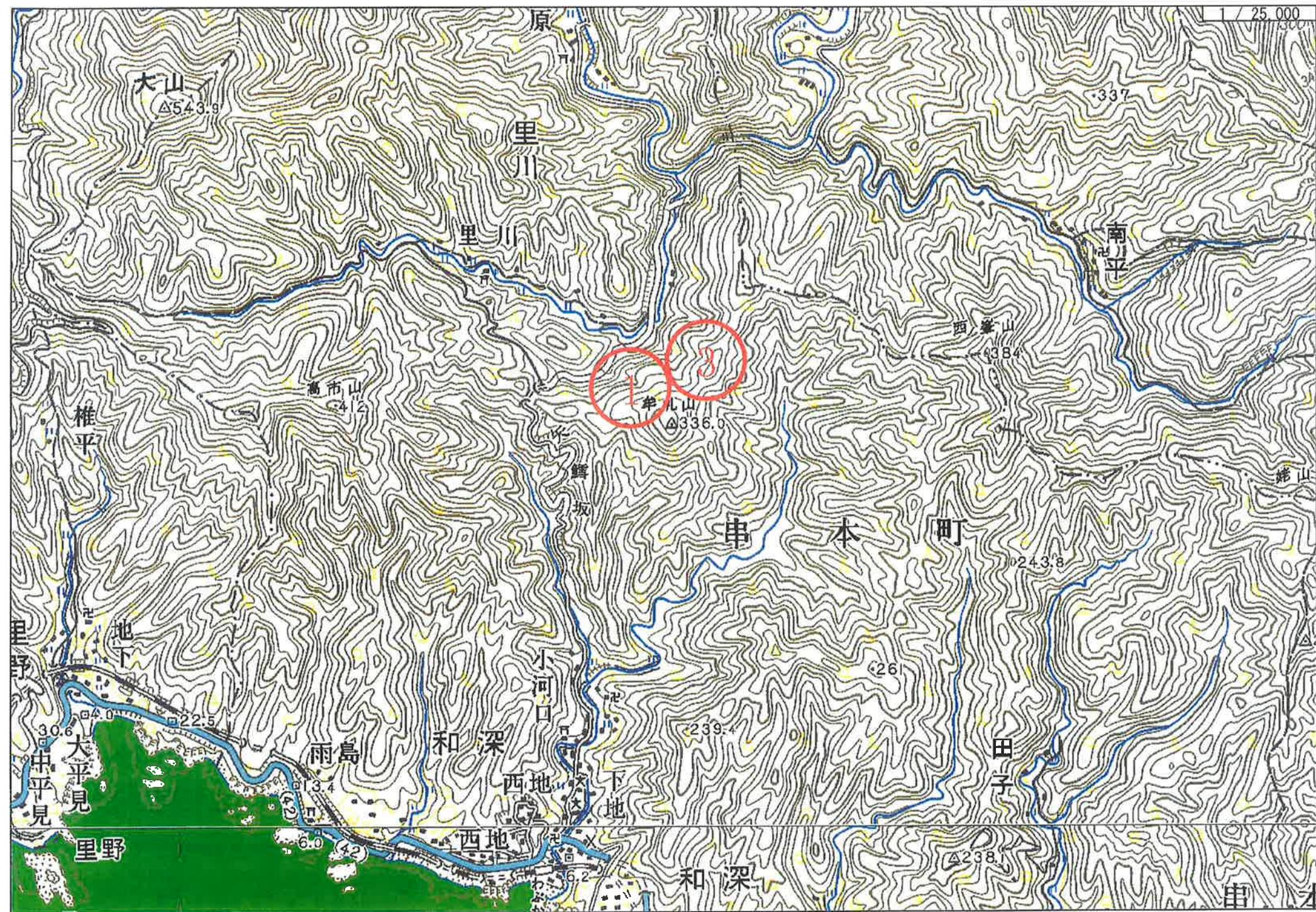
- (1) 森林管理及び施業を継続的に実施するため、間伐と並行した路網の整備を推進する。
- (2) 高性能林業機械等を活用した低コストで高効率な作業システムの整備、普及及び定着を推進する。
- (3) コンテナ苗の活用等による造林・保育の低コスト化を推進する。

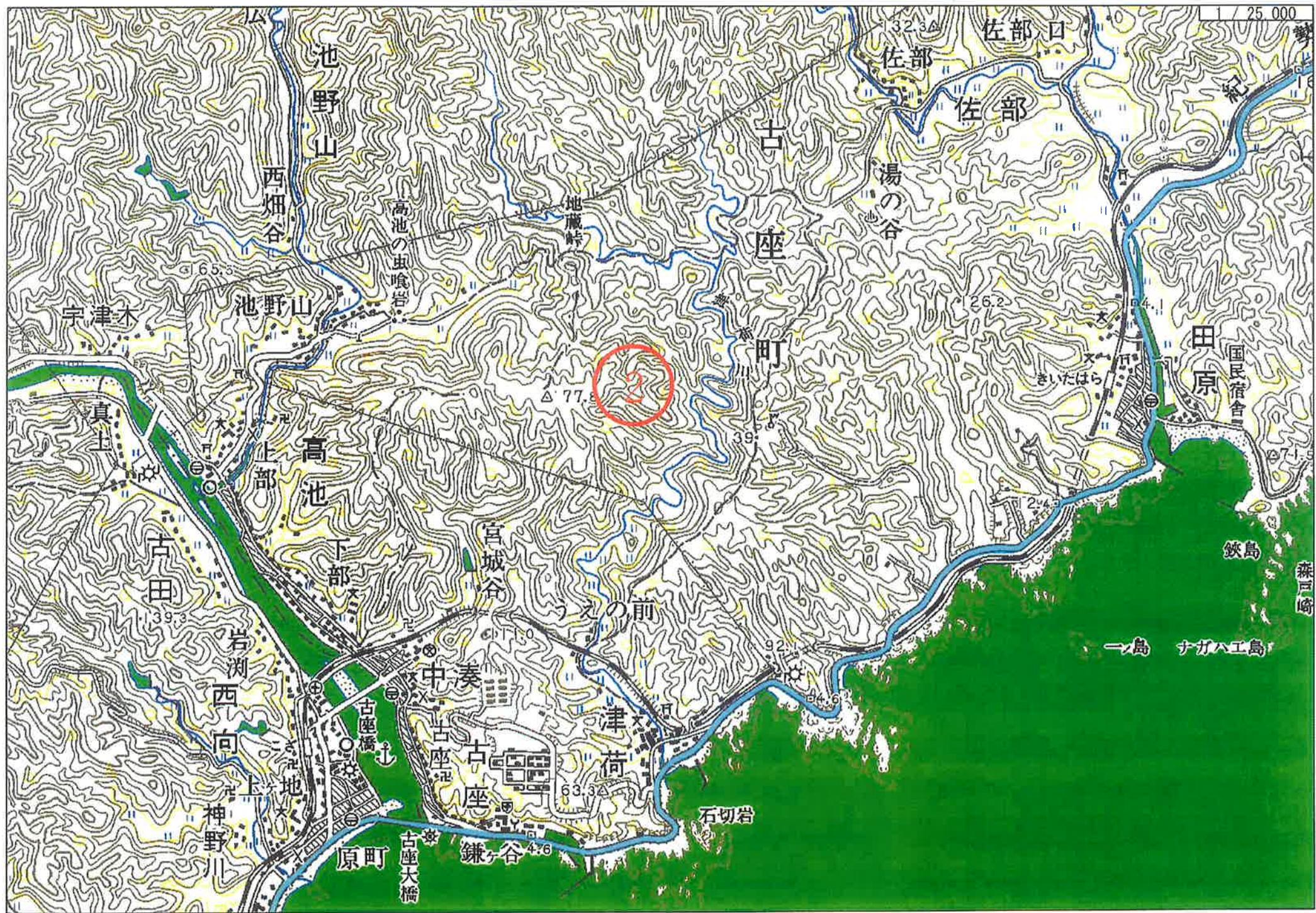
6 間伐材の利用の推進

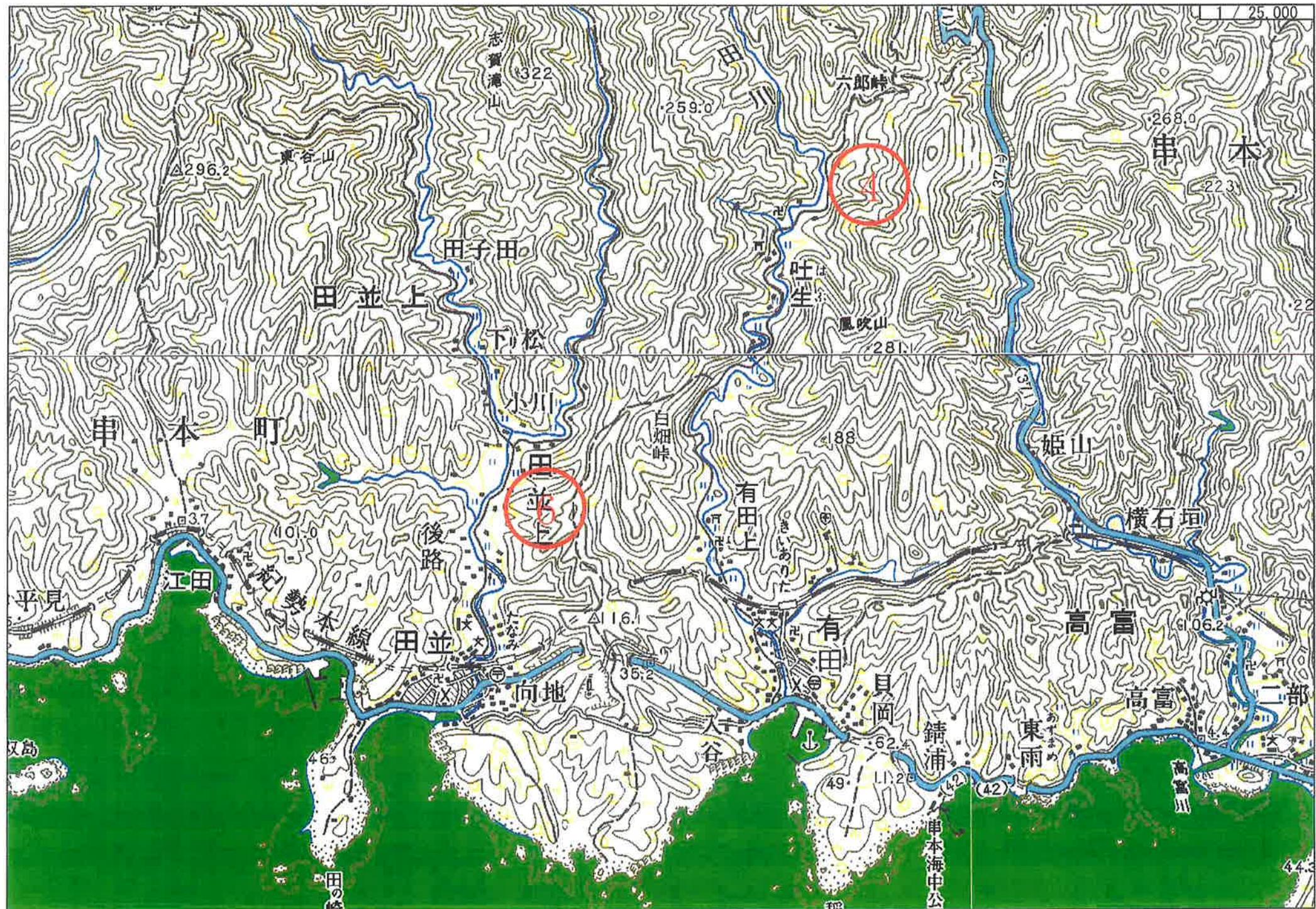
- (1) 間伐材を安定的に供給・利用するため、供給者と利用に携わる関係者間の合意形成の構築を推進する。
- (2) 長期的な木材需給に係る協定の締結等による間伐材の安定供給体制の構築を推進する。

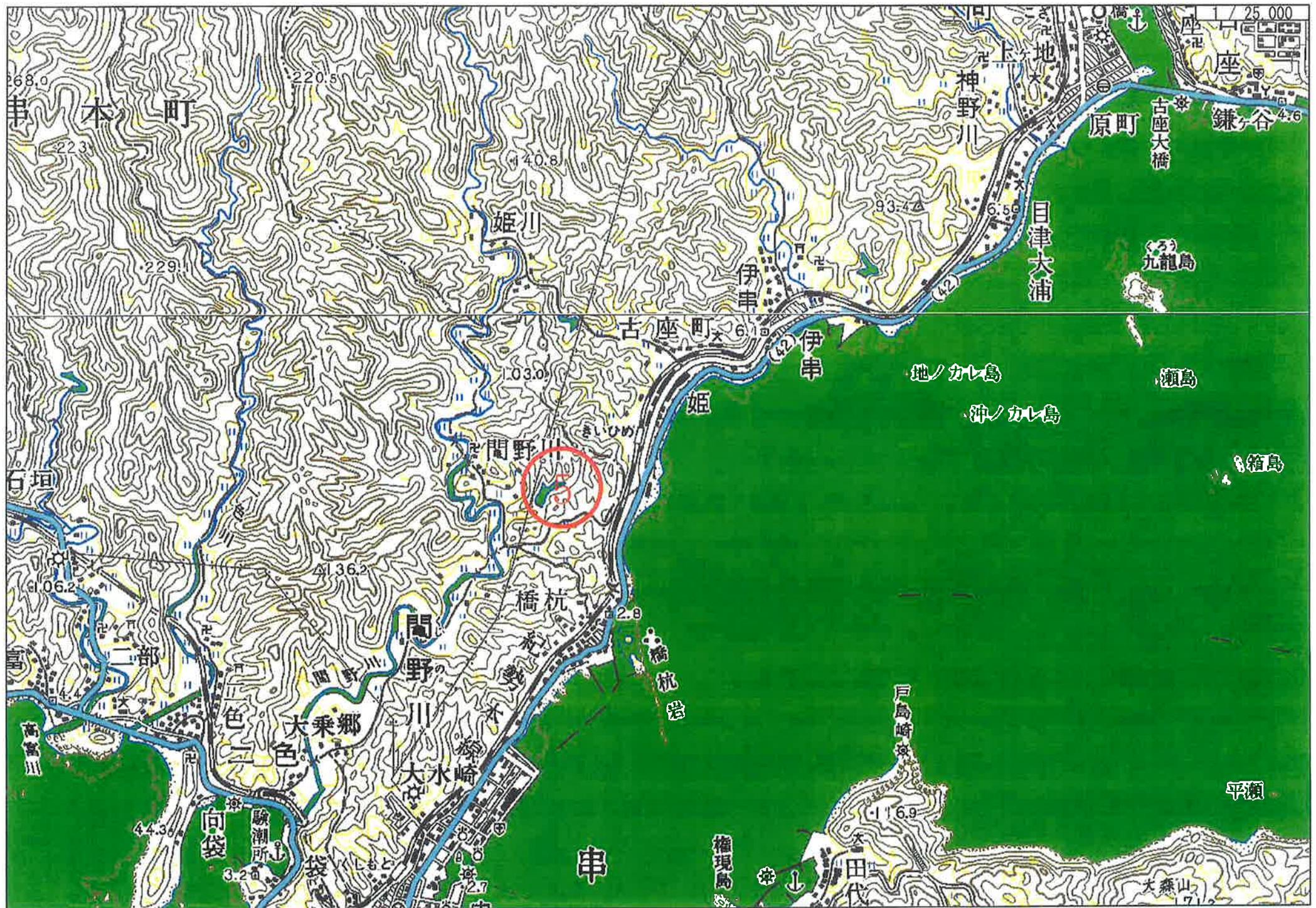
7 人材の育成・確保等

- (1) 間伐や路網作設等を適切に行える現場技能者等及び林業事業体の育成確保を図る。
- (2) 林業事業体に対する経営手法・技術の普及指導等を図る。









1 / 25,000

